

2026年NPPT再検討会議に向けた

第3回準備委員会

2025年4月28日～5月9日

2010年再検討会議
64項目の行動計画

2015年再検討会議
合意なし(中東問題)

2022年再検討会議
合意なし(ウクライナ問題)

2023年第1回準備委
議長総括なし

2024年第2回準備委
議長総括(注記を追加)

2025年第3回準備委
勧告の採択?

基本情報

- 日時： 現地時間 4月28日～5月9日
- 場所： アメリカ・ニューヨーク国連本部
- 議長： ハロルド・アジュマン ガーナ国連常駐代表

第3回準備委員会の流れ(暫定)

日時	アジェンダ	その他
4/28~4/30午前	一般討論演説	岩屋外務大臣?
4/30午後	NGOステートメント	被爆者など
5/1~5/2午前	クラスター1 (核軍縮)	
5/2午後、5/5~5/6午前	クラスター2 (核不拡散)	
5/6午後-5/7午前	クラスター3 (原子力の平和利用ほか)	
5/7午後	NPT再検討プロセスの強化	
5/8~5/9	2026再検討会議に向けて/最終文書の検討	勧告の採択?

日本から現地渡航するNGO団体

- 日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）
- 核兵器をなくす日本キャンペーン
- 原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
- 創価学会インタナショナル
- ピースデポ
- 長崎大学核兵器廃絶研究センター／長崎ユース代表団
- 平和首長会議／平和首長会議ユース　ほか

日本NGOの動き

会議での発言

- 日本被団協、日本原水協、平和首長会議

サイドイベント

- 平和首長会議、広島県、日本原水協(4/29)
- 長崎ユース代表団(4/30)
- 創価学会インタナショナル(5/2)

日本政府の動き

- 作業文書： 7本（共同提出を含む）*
 - ▶ CTBT、FMCT、透明性・説明責任、軍縮教育、
国際賢人会議
- サイドイベント*
 - ▶ 国際賢人会議(4/28)、軍縮教育(5/7)

*4/17時点



核兵器をなくす日本キャンペーン

NPT期間中の取り組み

現地渡航：浅野英男

連絡先：asano@nuclearabolitionjpn.com

滞在期間：4月26日～5月3日

● REC

国連から生中継！ 核兵器をなくすNPTレポート 2025



日本時間 4/29-5/3
毎日 8:00- @YouTube

≡ 核兵器をなくす ≡
日本キャンペーン



2025年04月16日 レポート

【2025NPTレポート】核不拡散条約（NPT）「準備委員会」とは何か



4月28日から5月9日にかけて、[2026年核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けた第3回準備委員会](#)（以下、NPT第3回準備委員会）がアメリカ・ニューヨークの国連本部にて開催されます。

<https://nuclearabolitionjpn.com/archives/8863>

Japan NGO Network

for Nuclear Weapons Abolition

核兵器廃絶日本NGO連絡会

2025年04月07日 イベント

核不拡散条約（NPT）第3回準備委員会に向けた日本政府との意見交換会および記者会見のお知らせ



現地時間4月28日から5月9日にかけて2026年NPT再検討会議に向けた第3回準備委員会がニューヨーク国連本部にて開催されます。

要請全文：

https://nuclearabolitionjpn.com/wp-content/uploads/2025/04/NPT-PrepCom3_MOFA-Letter-final.pdf

2025年4月17日

内閣総理大臣 石破茂様

外務大臣 岩屋毅様

核兵器廃絶日本NGO連絡会

2026年核不拡散条約（NPT）再検討会議第3回準備委員会に向けた要請および質問

アントニオ・グテーレス国連事務総長が警鐘している通り、現在、核戦争のリスクは「過去数十年で最高レベル」にあります。ウクライナや中東ガザ地区において核保有国は核の威嚇をちらつかせ、武力侵攻を進めています。また、大国間の地政学的競争や新興技術の軍事利用は、核抑止が破綻するリスクを高めています。

このようにグローバルな不安定性が高まるなか、本年3月には核兵器禁止条約第3回締約国会議が開催され、核兵器は「核兵器を保有しているか、核抑止に賛成か断固反対かにかかわらず、すべての国の安全保障」に対する脅威であるとし、「核兵器による生存に対する脅威を除去するべく、国際社会が団結して行動するよう」取り組むとの決意が表明されました。日本政府主導の『核兵器のない世界に向けた』国際賢人会議による提言も「全ての国は、核兵器への依存から脱却するために努力し続けなければならない。核抑止が安全保障の最終的な形態であるとこれまで示されたことはなく、またこれからもそうあってはならない」と指摘しているように、私たちは、核抑止からの脱却に向けた取り組みが急務であると考

- **日本被団協ノーベル平和賞の歓迎／「被爆の実相」普及への貢献**
- 「核兵器の使用又はその威嚇は許されない」の確認
- 核の非人道性と国際人道法を含む国際法の遵守
- **「核戦争の影響に関する科学パネル」歓迎＋日本による積極貢献**
- 先制不使用の日本の支持とそのための対話
- **新START後継条約・新たな核軍縮の枠組みに向けた対話**
- 国別報告の提出とそれに関する対話枠組みの創設／**核軍縮に向けた国別5か年行動計画の提出**
- TPNWに関する政府見解の表明／NPTとの補完性の表明
- 兵器利用可能な核物質の削減／日本の再処理計画の凍結
- 核被害者援助・環境修復への取組・日本の知見の共有

会議の注目点①

- 日本被団協ノーベル平和賞への言及
- 核使用の威嚇やそれを示唆する言辞への批判
- 「核戦争の影響」国連パネルの歓迎
- 核被害者援助・環境修復

会議の注目点②

- **トランプ米政権の影響**
 - ▶ **核軍縮に向けた対話**
 - ▶ **核不拡散(イラン、NATO、AUKUS、韓国)**
 - ▶ **核実験禁止**
- **新START(2026年2月失効)**
- **核兵器国の国別報告に関する対話(英・仏)**

関連URL

【会議文書(会議アジェンダ、タイムテーブル、報告書、作業文書、発言原稿等)】

- ・国連: <https://meetings.unoda.org/meeting/73645/documents>
- ・RCW: <https://www.reachingcriticalwill.org/disarmament-fora/npt/2025>

【サイドイベント日程】

- ・政府によるサイドイベント一覧: https://unodaweb-meetings.unoda.org/public/2025-04/NPT%20PCIII%20side%20events_as%20of%209%20Apr_0.pdf
- ・NGOによるサイドイベント一覧:
<https://www.reachingcriticalwill.org/disarmament-fora/npt/2025/calendar>